

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：Public Transport in Asia	
日付：11月1日（土）曜日、セッション時間：10:45～12:15	
司会者名（所属）：花岡伸也（東京工業大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>発表者毎に個別に討議を行った（発表 15 分，質疑 15 分）．3 つの発表が全て英語で行われたこともあり，多くの留学生がセッションに参加したようである．セッション参加者数は約 30 名で質疑も活発に行われた．なお，2 人目の発表者の PC の調子が悪かったため，2 人目と 3 人目の発表順を変更した．</p>
	<p>（46）Ms. Ma. Rojarlyn GAID（北海道大学）：</p> <p>OD-Based Measures for Bus Route Restructuring in the Obihiro Area</p> <p>質問 1：最近の PT 調査において，ゾーニングが現状の OD トリップを反映していないという問題が指摘されている．どう思うか．> 回答：行政区分ではなく細かく Traffic Zoning を行ったので，問題はないと思われる．</p> <p>質問 2：ノーマルバスと DRT の運行頻度の違いをモデルからどのようにアウトプットできるのか．また，LP の目的関数の単位が不明．> 回答：モデルでは運行頻度の総数しか表現できないが，バスは定期運行，DRT は需要に応じた運行と仮定している．目的関数の単位はフリーサイズ．</p>
	<p>（47）Mr. Muhammad Sulkifli（Pancasila University, Indonesia）：</p> <p>Evaluation of Major Factors related with Satisfaction Level for Walking and Cycling based on User's Perception in Jakarta</p> <p>質問 1：アンケートの回答者をどのように選んだのか．自動車ユーザー（高所得者），あるいは自転車利用者（低所得者）かの違いにより，アンケート結果は大きく異なるのではないか．> 回答：回答者は歩行者と自転車利用者である．回答者の所得はわからない．</p> <p>質問 2：この研究の目的は何か．例えば都心の自転車利用を増やすことは望ましいのか．郊外地区の自転車利用など，研究対象を持った絞った方がいいのではないか．> 回答：参考となるコメントに感謝する．</p>
	<p>（48）Dr. Qian Xuepeng（立命館大学）：A System Approach to Design Bus Rapid Transit System in Vientiane (LAO PDR)</p> <p>質問 1：SP 調査の場合，BRT とは一体何であるのか，アンケート回答者が理解できないことが多い．ビエンチャンで調査したとき，何か工夫をしたか．> 回答：BRT を説明するレクチャーを実施した．</p> <p>質問 2：BRT を運行するとき，ノーマルバスは BRT の運行後にどうするのか．> 回答：BRT はトランク，ノーマルバスはフィーダーと位置づける．</p> <p>質問 3：大気汚染とは具体的に何を指しているのか．> 回答：二酸化炭素．</p> <p>質問 4：需要予測に使ったモデルは何か．> 回答：通常の 4 段階推定法．OD データも存在する．</p>